

平成28年度経営発達支援計画状況報告

	目標	実績
1. 支援先掘り起し件数	44社	213社
2. 事業計画策定件数	44社	135社
3. フォローアップ件数		
①定期的なフォロー	44社 88回	48社 125回
②計画策定後の調査・分析	14社	0社
③出展補助金による支援	18社 (3社は事業計画策定支援)	2社 (事業計画策定支援企業0社)
④広報誌掲載実績	100社 (3社は事業計画策定支援)	96社 (事業計画策定支援企業9社)
⑤記者クラブへの情報提供	2社 (1社は事業計画策定支援)	1社 (事業計画策定支援企業1社)
⑥海外展開支援室	10社 (1社は事業計画策定支援)	8社 (事業計画策定支援企業6社)
⑦見本市・産業展出展	8社 (2社は事業計画策定支援)	9社 (事業計画策定支援企業3社)
⑧金融機関主催の展示会出展紹介	4社	0社
4. 創業支援件数	25名	23名

【有識者による評価・見直し案の提示】

開催日：平成29年6月15日(木) 10時00分～11時30分

■評価

1. 四日市商工会議所が経営発達支援計画で定めた評価項目について、「1.支援先掘り起し件数」、「2.事業計画策定件数」については計画を大きく上回っており評価できる。「3.フォローアップ件数」、「4.創業支援件数」については、目標を下回った項目もあるが、概ね評価できる。

2. 「平成28年度経営発達支援計画実施状況調査」の各項目については、全ての項目で目標を達成しており、評価できる。

■見直し案

今後計画を進めていく上で注意すべき点としては、そもそも経営発達支援計画は伴走型の出口支援である。

① 新たな需要の開拓に寄与する事業支援が最重要であることから、展示会・商談会出展支援事業者、販路開拓支援事業者を増やし、新たな需要開拓を行う事業者を増やす支援に重点を置き効果を上げてほしい。その際には、展示会前の商材の絞り込みやターゲットの設定等事前準備を行い、当日の円滑な商談の進め方やその後のフォローアップの手法まで一貫して伴走しながら支援を進めることで成果に結びつくと思われるので、そのような体制づくりを望む。

② 経営指導員は、従来の経営改善事業だけでなく事業所のニーズを掘り起こすため提案型の支援を増やす必要がある。具体的には、テーマを絞った巡回等を通じて、情報提供を行い、顧客獲得接点の機会を提供し事業所の需要を拡大し売上・利益を増幅する支援を行ってほしい。③ 窓口で受ける小規模事業者の支援ニーズがあつてからアクションを起こす受け身型の支援スタイルに加えて、会報誌や巡回を通じて行う提案型の支援スタイルにもシフトしていくよう努力してほしい。